

研究テーマ

「地域資源を活かし、地域経済や地域の活性化を図るには」の調査研究報告

飯田市議会 産業建設委員会

はじめに

平成 27 年度議会報告会の意見交換会のテーマの設定に当たっては、国で「まち・ひと・しごと創生基本方針 2015」が閣議決定された時期と重なったこともあり、地方創生について委員会として調査研究を行う機会と捉え、『みんなで考えよう！「地域で働く人づくり、若者が帰って来られる仕事づくり」とは』と『地域資源を活かし、地域経済や地域の活性化を図るには』の二つをテーマに設定した。

委員会の議論において、自然環境や農産物などの地域資源を活用し地域の活性化を図る必要性は共有され、これまでも行ってきた地域資源を生かす取り組みを、ブランディングの確立や、地域経済の好循環につなげるには何が必要か、論点を整理し、議会報告会分科会において市民との意見交換を行った。

市民から出された意見を集約し、28 年度にかけて管外視察での調査のほか、行政評価の中で議論し、議会からの提言に盛り込んだ。詳細は、後述「今年の分科会が出された主な意見とそれに対する委員会での議論」を参照されたい。

当委員会の任期を迎えるにあたり、これまでの委員会による調査研究内容をあらためて総括し、それを踏まえ、残された視点に関し委員会としての提案を担当部署へ提出するものである。

I 提案

- 1 平成 28 年度の管外視察において、鳥根県雲南市の株式会社吉田ふるさと村を視察した。「このままでは村がなくなる」との住民の思いが生んだ会社で、過疎化が進む地域を守るため、住民と行政が出資して会社を立ち上げ、地域独自に開発した商品で利益を生み、雇用を作り出していた。この事例から、市も、新商品の開発が進められるような支援体制を構築されたい。

II 調査研究の経過

- 平成 27 年 5 月 20 日 管内視察
・野底山森林公園モーリーの森交流館
・ココロファームビレッジ
- 7 月 8・9 日 産業建設委員会管外視察
・石川県七尾市で道の駅能登食祭市場の取組み視察
- 7 月 22 日 産業建設委員会の開催（26 年度事業評価）
- 8 月 4 日 産業建設委員会協議会の開催（26 年度事業評価）
- 9 月 18 日 産業建設委員会勉強会 ※市の取組み状況について
- 9 月 29 日 決算認定に係る施策及び事務事業に関し市へ提言
〈提言内容〉
○施策「未来を見据えた地域産業の魅力、強み、人材の強化」の中で提言
・地域ブランド化の推進を最も重要な産業政策の一つと位置づけ、複数の施策の中で総合的に展開されたい。例えば食文化として「焼肉」を推奨するとすれば、店舗数の多さだけでなく、味とサービス、地場産の肉にこだわるなど焼肉を地域文化にまで高めるような仕掛けをされたい
○「地域産品ブランド化事業」にやり方改善を提言
・新たなブランド品発掘のためのプロモーションの仕組みづくりを検討されたい。飯田市産業親善大使が縦横無尽に活躍できるように、市も積極的に取り組まれたたい
- 平成 27 年 10 月 議会報告会
・分科会テーマとして設定し、選択いただいた 5 ブロック
- 11 月 10 日 において意見交換実施
産業建設委員会協議会勉強会
- 12 月 産業建設委員会協議会勉強会
・引き続き調査研究活動のテーマとすることを確認
- 平成 28 年 2 月 10 日 第 4 回定例会 閉会中の継続調査の申出をおこない議決
産業建設委員会勉強会
・地域活性化プログラム 2016 により飯田市の取組を確認
- 4 月 20 日 調査研究テーマの扱い整理
管内視察実施
・東栄公園整備事業
- 5 月 13 日 遠山郷温泉トラフグ養殖施設整備
- 7 月 7～9 日 産業建設委員会協議会
管外視察実施
・鳥取県日南町で「創造的過疎」のまちづくり概要視察
・鳥取県大山町で大山恵みの里公社の取組視察
- 7 月 20 日 島根県雲南市で株式会社吉田ふるさと村の取組視察
- 8 月 2 日 産業建設委員会の開催（27 年度事業評価）
- 8 月 10 日 産業建設委員会協議会の開催（27 年度事業評価）
産業建設委員会協議会
・これまでの経過や、管内、管外視察、行政評価等の取組みを踏まえ課題や取組みの方向性について再度議員討議

〔昨年の分科会で出された主な意見とそれに対する委員会での議論〕

○総論的な意見

- ・意見1 地域資源を活かすことも解るが、雇用の実現にどう結び付けるかが問題だ
⇒ テーマ「若者定住を促進するためには」の中で議論
- ・意見2 地域の人的資源は、地元の人ばかりでなく、地元出身で中央で活躍している人材も資源だ。交流ができる情報や仕組み作りが必要だ
⇒ 「産業活性化懇話会開催事業」の行政評価の中で議論
- ・意見3 アドバイザー、コーディネーターなど地域間をつなぐ人材が必要
⇒ 平成28年8月10日産業建設委員会協議会勉強会にて議論

○自然環境が一番の地域資源という視点からの意見

- ・意見4 「振興」というと負担が大きい。「現状維持」ですら大変。目的を持って来てくれる人を増やさないといけない
⇒ 平成28年8月10日産業建設委員会協議会勉強会にて議論
- ・意見5 住んでる人が地域の資源を分かっていない。そこから始めないと
⇒ テーマ「若者定住を促進するためには」の中で議論
- ・意見6 今の景観を維持するには、何らかの収入と若い人が入り活動を継続していくことが必要である
⇒ 平成28年8月10日産業建設委員会協議会勉強会にて議論

○観光に結び付けるという視点からの意見

- ・意見7 もっと外国人客の誘致を行政で行ったらどうか
⇒ 「海外誘客促進事業」の行政評価の中で議論
- ・意見8 リニアと観光に関し、アクセス道路や手段を整備すべき
⇒ 施策「交通機関と道路の充実」「幹線道路改良事業」の行政評価の中で議論
- ・意見9 市町村間での観光の連携を強化して欲しい
⇒ 「広域連携による観光誘客事業」の行政評価の中で議論
- ・意見10 観光は行政から離れた独立した団体でないと機能しない
⇒ 「観光誘客宣伝事業」の行政評価の中で議論

平成28年10月	11	議会報告会において経過を市民に説明
月4日		産業建設委員会協議会 ・テーマに関する調査研究内容の確認
11月15日		産業建設委員会協議会 ・テーマに関する調査研究結果の確認
12月14日		意見交換会 ・テーマに関し産業経済部と意見交換
平成29年1月26日		産業建設委員会協議会勉強会
2月8日		産業建設委員会協議会勉強会 ・議員間で討論し、提案内容の確認